

東米商HACCP研修会が開催されました

先週3月19日、日本橋公会堂において東米商主催で米穀小売店向けのHACCPの考え方を取り入れた衛生管理のための手引書について説明会が開催されました。
東米商加盟の小売店約80名の参加があり、法改正により義務化されたHACCPに沿った衛生管理への取り組みの具体的な手法について日米連作成の手引書を基に説明がされました。

HACCPの7原則12手順をそのまま実施するのは手間も費用も掛かることとなります。
そのため業界ごとに団体が作成した手引書を厚生労働省が認め、その手引書に沿って日々の作業を行うことで衛生管理が出来るというものです。
この手引書は保健所にも配布され、衛生管理実施状況の確認作業に使われることにもなります。

詳しくは厚生労働省HPから
[ホーム](#)>[政策について](#)>[分野別の政策一覧](#)>[健康・医療](#)>[食品](#)
>[HACCP\(ハサップ\)](#)> HACCPの考え方を取り入れた衛生管理のための手引書
と進んでください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000488412.pdf>

サシヨクでは精米HACCPの取組みを行うと同時に、上記の件も営業担当が理解を深められるように研修を行う予定です。

青・壮年期こそ 見本

ごはんを中心とした 日本型食生活で、 健康長寿を迎えよう!

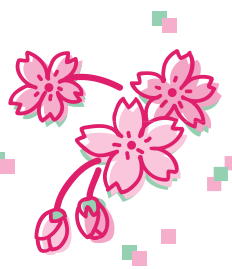
「人生100年時代」を迎えるにあたり、健康上の問題がない状態で日常生活を送ることが出来る「健康寿命」を延ばすことが重要です。高齢期に寄り添うようになる食生活の多くは、青年期、壮年期からの生活習慣によってある程度予防できます。できることから始めて、長い人生を楽しみましょう。

東京大学医学部研究センター センター長/市本内科 臨床クリニカル研究部長
寺本 民生 先生

- 1 上手な炭水化物摂取が健康長寿の秘訣
- 2 フレイル・認知症予防には運動と栄養 両面からの対策を
- 3 日本型食生活で実現するより良い栄養バランス
- 4 時間栄養学的炭水化物摂取のポイント

*健康寿命を延ばすために「青・壮年期の「健康課題」と「ごはんを中心とした食生活のポイント」
*民間栄養学から見た「体内時計をリセットする」「ごはん」の食べ方

公益社団法人 日本医師会 / 公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構
後援 農林水産省



今週の玄米入荷情報

- 千葉 ふさおとめ 多古
- 北海道 ななつぼし
- 栃木 コシヒカリ 大田原
- 新潟 岩船コシヒカリ
- 新潟 魚沼コシヒカリ 十日町
- 新潟 魚沼コシヒカリ 十日町特裁
- 福島 中通コシヒカリ
- 長野 特Aコシヒカリ 飯山
- 佐賀 夢しずく 唐津特裁
- 佐賀 さがびより
- 岩手 ひとめぼれ 前沢限定
- 秋田 あきたこまち やまもと
- 栃木 あさひの夢
- 島根 きぬむすめ
- 青森 まっしぐら
- 青森 青天の霹靂
- 宮城 ササニシキ 登米特裁
- 茨城 コシヒカリ
- 新潟 新之助
- 山形 雪若丸
- 福井 コシヒカリ テラル越前
- 富山 コシヒカリ

小冊子を用意しております。

ごはん食を中心とした食事健康長寿を迎えましょう。

- 1、上手な炭水化物接種が健康長寿の秘訣
- 2、フレイル・認知症予防には運動と栄養 両面からの対策を
- 3、日本型食生活で実現するより良い栄養バランス
- 4、時間栄養学的炭水化物接種のポイント

店頭で、イベントで、お客様にお配りください。
また、店頭でのセールスブックにもご活用ください。